

(様式2)

令和7年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	ボランティア参加者人数
柳井市立小田小学校	令和7年10月21日 令和7年11月19日	10名
<p>1 活動名</p> <p>命を守るために「防災について考えよう」(3・4年)、地域と連携した地震・津波対応避難訓練(全校)</p> <p>2 活動内容</p> <p>本校の3・4年生は総合的な学習の時間に、地域人材と連携した防災学習を行っている。10月には専門的な知識を有する学校応援団の方による防災出前授業で、地震・津波のメカニズムや発生時の対応の仕方などを学習した。この学習をもとに、さらに自分たちが生活している地域に目を向けて、校外学習を行った。さらに、11月25日には、大津波警報発令を想定し、地域の方々による誘導補助で全校児童の避難訓練を行った。</p> <p>(避難訓練について)</p> <p>安芸灘を震源とする震度7の地震が発生した想定で、校舎内でのシェイクアウト訓練後、本校(海拔2.8m)から伊保庄地区の指定緊急避難場所である柳井商工高校(海拔21m以上)まで避難する。地域の方にも事前に周知し、希望者が参加する。</p> <p>3 子どもたちの声</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害が起きたときの身を守る行動や、街の安全を守る施設について学ぶことができた。・ 地震が起きた時には、いつも通っている道にもたくさんの危険な場所があることが分かった。家族にも教えてあげたい。・ 地震が起きたときには、みんなで声をかけ合い、命を守る行動をすることが大事だと思った。 <p>4 学校応援団の方の声(感想など)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地震が起きた時には、まず玄関まで行くこと、自分の命は自分で守ること(自助)や互いに助け合うこと(共助)を心がけてほしい。・ 地域と合同で防災教室・避難訓練をすることができてよかった。今後も継続することが、危機管理意識を高めるために大切である。  <p>【地域の方による防災学習】</p>  <p>【地域の方との校外学習】</p>  <p>【二次避難場所(柳井商工)】</p>		